

株主の皆様へ

第71期中間事業のご報告

2021年4月1日から2021年9月30日まで



福留ハム株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
当中間期の概況.....	2
セグメント別の概況.....	3
セグメント別売上高.....	4
通期の見通し.....	4
中間連結財務諸表.....	5
会社概況.....	8
株式概況.....	9

株主の皆様へ



代表取締役社長 福 原 治 彦

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜わりあつくお礼申し上げます。

ここに第71期中間事業のご報告をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

2021年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、感染力の強いデルタ株の流行により、緊急事態宣言等が延長されるなど、経済活動に制限がかかる状況が続いております。ワクチン接種の進展とともに経済・生産活動の再開に持ち直しが見られるものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大にともない、内食化が堅調に推移したものの、先行きへの不安からくる消費者の低価格・節約志向は厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や一部原材料価格の上昇、さらには原油価格の高騰に起因する動力費及び包装材料価格の上昇もあり、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、今期を2年目とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」において、「消費者ニーズにあった新たな商品開発と販売戦略の構築と実行」をテーマとして「商品開発の強化」、「販売戦略の構築と実行」、「新規市場へのチャレンジ」の三点に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症拡大下において、消費者の食に関するライフスタイルの変容や消費行動は多様化し、様々な需要に対応するため、家庭内での消費に対応した商品展開や新商品の開発、さらには既存商品のブラッシュアップと拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、122億64百万円(前年同期は125億72百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は1億91百万円(前年同期は営業損失1億89百万円)、経常損失は1億62百万円(前年同期は経常損失1億73百万円)となりました。中間純損益につきましては、親会社株主に帰属する中間純損失は1億20百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億86百万円)となりました。なお、収益認識会計基準の適用により、当中間連結会計期間の売上高は2億83百万円減少しております。

なお、当中間連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、売上高については対前年同期増減率は記載しておりません。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、既存商品をブラッシュアップした環境にやさしいエコトレイ使用の「野菜といっしょにシリーズ」の「うす切りパストラミハム」や豚肩ロース肉を使用した厚切りステーキタイプの「ハムステーキ」、昨年販売した「あらびきKING」の新シリーズ「あらびきKING レモン&パセリ」、「肉厚ハンバーグ」シリーズ等が堅調に推移いたしました。しかしながら、緊急事態宣言等の延長や夏場の天候不順も重なり、BBQ商材の中容量タイプやインスタ用商材等の販売が落ち込んだことや収益認識会計基準の適用等により、売上高は減少しました。

その結果、売上高は54億16百万円（前年同期は58億10百万円）となりました。

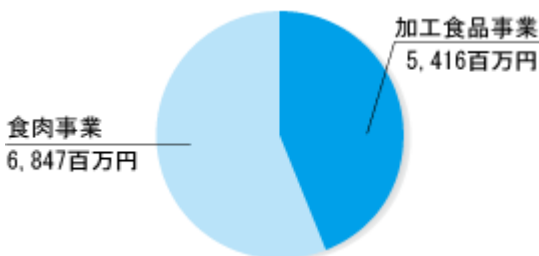
●食肉事業

食肉事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大やデルタ株の流行の影響により外食需要は引き続き厳しさを極めるなか、国産豚肉の「八女もち豚」や輸入豚肉の「大麦仕上三元豚」を中心としたブランド商品提案を強化してまいりました。売上高につきましては、国産牛肉は出荷頭数の減少により高値で推移し、売上高は増加したものの、国産豚肉は、前年同期に比べ内食需要の高まりが落ち着いたことや夏季における発育不良に伴い出荷頭数が減ったことにより売上高は減少いたしました。輸入牛肉、輸入豚肉は堅調に推移し、北米産ビーフ等が売上を伸ばし、食肉事業全体の売上高は増加いたしました。利益につきましては、海外のコンテナや人手不足による入船遅れがあったものの、採算重視の販売に努めたことや仕入れの見直し、在庫の適正管理による余剰在庫の削減、さらには物流費等のコスト削減努力により前年同期を上回りました。

その結果、売上高は68億47百万円（前年同期は67億61百万円）となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比
加 工 食 品 事 業	5,416 百万円	44.2 %
食 肉 事 業	6,847 百万円	55.8 %
合 計	12,264 百万円	100.0 %



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、ワクチン接種の進展とともに、各種政策や海外経済の改善もあり、景気が持ち直していくことが期待される一方で、原材料価格の上昇や原油価格の高騰など、経営環境は大変厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況の中、当社グループは、引き続き中期経営計画に基づいた「消費者ニーズにあった商品開発と販売戦略の構築と実行」をさらに強化し、様々な需要に対応した商品展開や既存商品のブラッシュアップを充実させ、販売強化を図ってまいります。

また、下期における収益の重要ポイントとして位置づけているお歳暮商戦につきましても「ロマンティック街道」シリーズや「弥山」シリーズなどの主力商品の販売に注力するとともに、最適な資源配分による原価低減や生産性改善による収益性のさらなる向上に努め、体質強化に取り組んでまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は252億円（前期は253億円）、営業損失は2億円（前期は営業損失2億43百万円）、経常損失は1億50百万円（前期は経常損失1億69百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は15百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失2億40百万円）を予定しております。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2021年9月30日現在	2020年9月30日現在	2021年3月31日現在
資産の部			
			単位：百万円
流動資産	6,251	6,044	6,290
固定資産	9,324	9,375	9,563
有形固定資産	6,850	6,978	6,900
無形固定資産	132	47	142
投資その他の資産	2,341	2,348	2,519
資産合計	15,575	15,419	15,853
負債の部			
流動負債	7,238	7,513	7,008
固定負債	4,231	3,660	4,495
負債合計	11,470	11,173	11,504
純資産の部			
株主資本	3,454	3,629	3,575
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	△659	△485	△538
自己株式	△80	△80	△80
その他の包括利益累計額	649	615	772
その他有価証券評価差額金	658	671	788
退職給付に係る調整累計額	△8	△56	△16
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	4,105	4,245	4,348
負債及び純資産合計	15,575	15,419	15,853

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結損益計算書

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
単位：百万円			
売上高	12,264	12,572	25,326
売上原価	10,352	10,398	20,896
売上総利益	1,912	2,174	4,430
販売費及び一般管理費	2,103	2,363	4,673
営業損失	191	189	243
営業外収益	79	67	174
営業外費用	50	51	100
経常損失	162	173	169
特別利益	54	-	-
特別損失	-	-	45
税金等調整前中間 (当期)純損失	107	173	214
法人税、住民税及び 事業税	13	12	25
中間(当期)純損失	120	186	240
非支配株主に帰属する 中間(当期)純利益	0	0	0
親会社株主に帰属する 中間(当期)純損失	120	186	240

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
単位：百万円			
営業活動によるキャッシュ・フロー	70	17	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	△151	△290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198	△209	64
現金及び現金同等物の増減額	△175	△343	123
現金及び現金同等物の期首残高	2,515	2,392	2,392
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,339	2,048	2,515

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

●会社概要

(2021年9月30日現在)

設立	1958年3月22日
資本金	26億9,137万円
従業員数	連結371名
本社	広島市西区草津港二丁目6番75号
支店	広島・山口・岡山・松山 高松・北九州・福岡・佐賀 大分・熊本
営業所	呉・松江・徳島・長崎 熊本南・鹿児島・宮崎
流通営業部	中四国・九州・関西・関東
工場	広島・熊本・岡山
直販店舗	外食：(焼肉一番団楽) 千田店・草津南駅前店 LECT店 精肉： 到津店・砂津店・太宰府店

●役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役会長	中島修治	治彦
代表取締役社長	福田啓	彦治
専務取締役	砂田誠	美彦
常務取締役	岡正	行司
常務取締役	福原康	利孝
取締役相談役	草場	千
取締役	原越	智野
取締役	中	千
取締役	中	智野
常勤監査役	吉田裕	二典
常勤監査役	明池	朗博
監査役	近藤	敏
監査役	近藤	敏

株式概況（2021年9月30日現在）

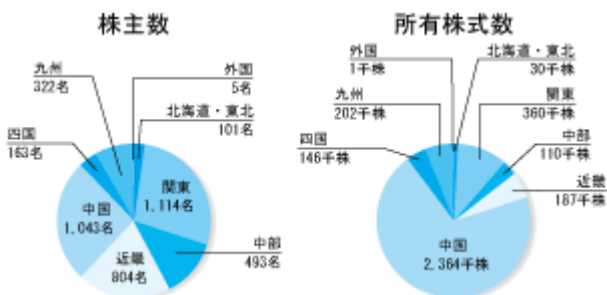
●株式の状況

- ① 発行済株式の総数 3,336,814株
（自己株式63,186株を除く。）
- ② 株主数 4,045名

●大株主

株主名	大株主の当社への 出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社福留興産	1,042	31.25
福栄会	340	10.20
福原康彦	130	3.90
中島修治	78	2.34
株式会社フジ	63	1.89
株式会社もみじ銀行	62	1.87
福原治彦	61	1.85
株式会社広島銀行	48	1.45
株式会社伊予銀行	46	1.39
株式会社福岡銀行	46	1.39
株式会社西日本シティ銀行	46	1.39

●地域別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要あるときは、公告して定めた日
剰余金配当株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (アドレス http://www.fukutome.com) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 貸借対照表および損益計算書については、 EDINET に掲載いたしております。
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620
お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (各種届出用紙のご請求・其他のご照会) ☎0120-707-843
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 証券コード (2291)
単元株式数	100株